



令和7年度愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業

# ノーリフティングケアの 更なる普及を目指して

2026年2月20日(金)



愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業講師  
(愛媛県介護実技普及指導員・講師)  
守谷理佐 成川ゆかり

## これからの内容

1. はじめに
  - 1) 推進事業所・協力事業所の報告について
  - 2) 愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業について
2. 更なる普及を目指して
  - 1) 普及できない理由
  - 2) 普及させるために必要なこと
3. 取り組んできた推進事業所・協力事業所と意見交換



はじめに

# 1) 推進事業所・協力事業所の報告について

## 気をつけていただきたいこと

### ■事業所・施設には違いがある

- ・ 利用者の状況
- ・ 職員の状況
- ・ 環境面
- ・ 経済面 など



取り組む内容・計画を同じにして、  
同じ福祉用具・機器を導入しても  
同じ効果が得られるとは限らない

## 参考にしていただきたいこと



- 明確な**目的・目標**を持って始めているか
  - ・ はっきりとした目的→目標であるか
- 施設・事業所の**課題**をどう捉えているか
  - ・ 自分たちで課題と改善策を把握できているか
- どのような**取り組み**を行っているか
  - ・ どのような**計画**を立て実施しているか
  - ・ 実施している**過程**を参考にしていただきたい

## 2) 愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業の目的

要介護高齢者の自立度を考慮した適切な福祉用具・機器の活用と身体機能・構造に即した介護技術を  
実践し、介護従事者が、腰痛など職業に起因する健康  
上の不安なく働くことができる職場環境作りを進めること  
により、**要介護者及び介護従事者双方の負担軽減と  
ケアの質の向上**を図り、介護従事者の**離職防止**や  
**介護人材の安定的確保**に資することを目的とする



# 労働衛生管理体制

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署



中央労働災害防止協会

- ◆リスクアセスメントを行い、作業管理、作業環境管理、健康管理、労働衛生教育を的確に組み合わせて、総合的に実施  
労働安全衛生マネジメントシステムの活用が重要

# 愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業

利用者・介護者

双方の安心・安全

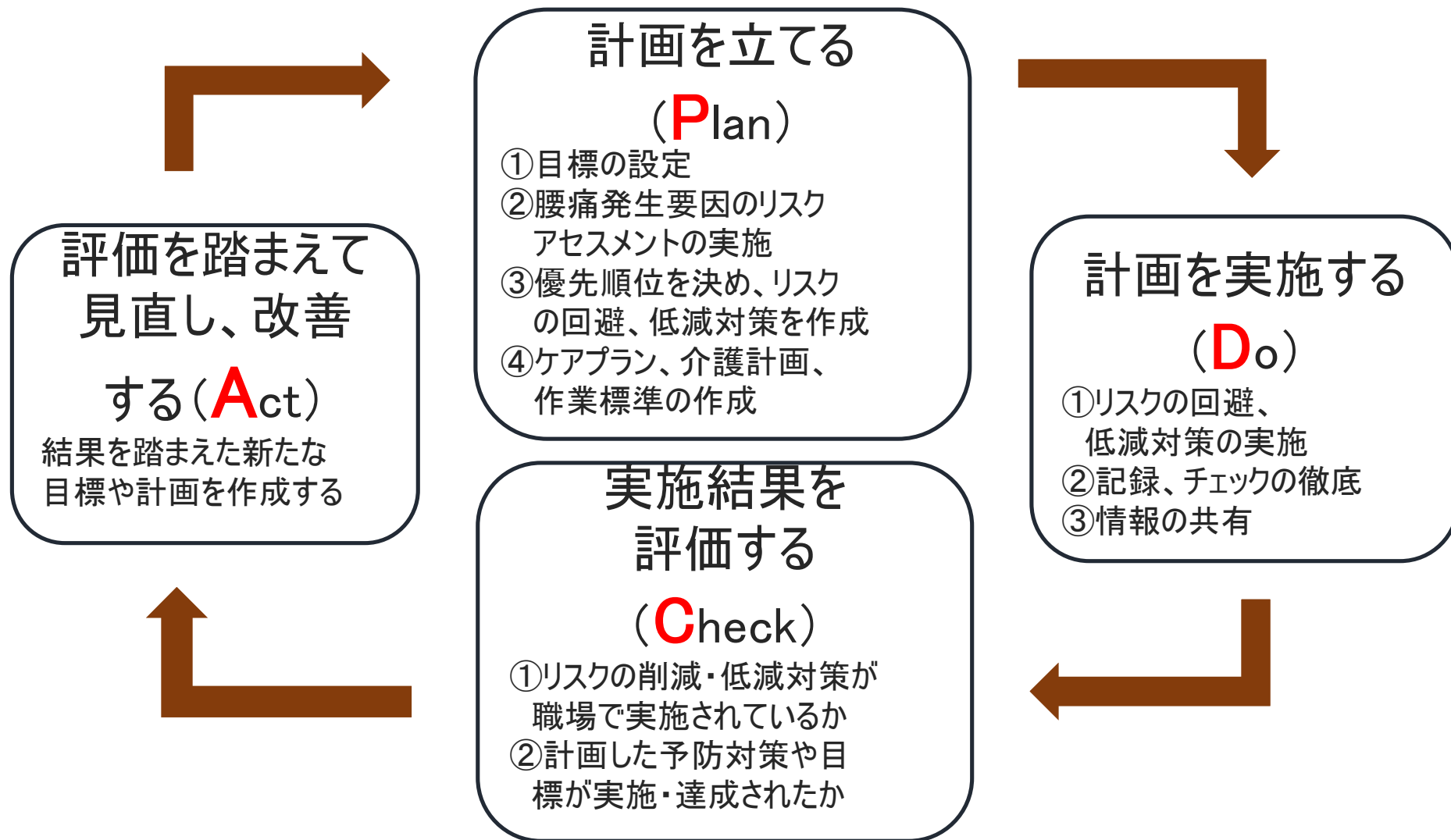
負担軽減



持ち上げない・引きずらない  
だけでなく  
**24時間**の姿勢管理・ケア  
を考える

トータルセーフティケア

# ノーリフティングケア普及啓発事業におけるPDCAサイクル



A large, solid red arrow pointing to the right, centered on a white background. The arrow is a simple, bold shape with a flat tail and a pointed head.

更なる普及を目指して

## 普及が進まない理由(例)

### ● 動機が不明瞭

- ・他の事業所が導入しているから、やってみようか

### ● 目的が不明瞭

- ・なぜ始めるのか不明瞭のまま→ 目的が職員に伝わらない  
→なぜ取り組まなければならないかわからない

### ● アセスメントが不十分

- ・リスク見積・課題の見極めができていない
- ・対象者の状態に合った福祉用具や介助方法が選定できていない  
ことで使わなくなる など

# ノーリフティングケア

「意識」を統一して  
日々のケアに取り入れていく難しさ

「良い」のはわかっている

- ・ 時間がない
- ・ 人手が足りない
- ・ 知識・技術が未熟
- ・ 物（用具等）がない など



それでも  
なぜ、取り組むのか

「今」のことだけではない、「これから」のこと

「今」を変えていくこと

「自分たち」のケアを変える・見直すことは

これから先の「その人」の生活（人生）を

変えることができる

効果を出すことで意識を変えていく

協力事業所のアドバイスはとても有効

# 効果・変化(推進事業所・協力事業所 例)

## ■個別研修

「介護者・利用者の安心・安全＋姿勢の見方・姿勢の整え方」

- 利用者に対して**意識の変化**が見受けられる(ほとんどの事業所)

利用者の「**負担軽減**」は何かが伝わる

- 自分たちが実際に研修・ラウンドを経験したことで理解が深まる

⇒**双方のリスクと負担軽減の根拠と方法**がわかる

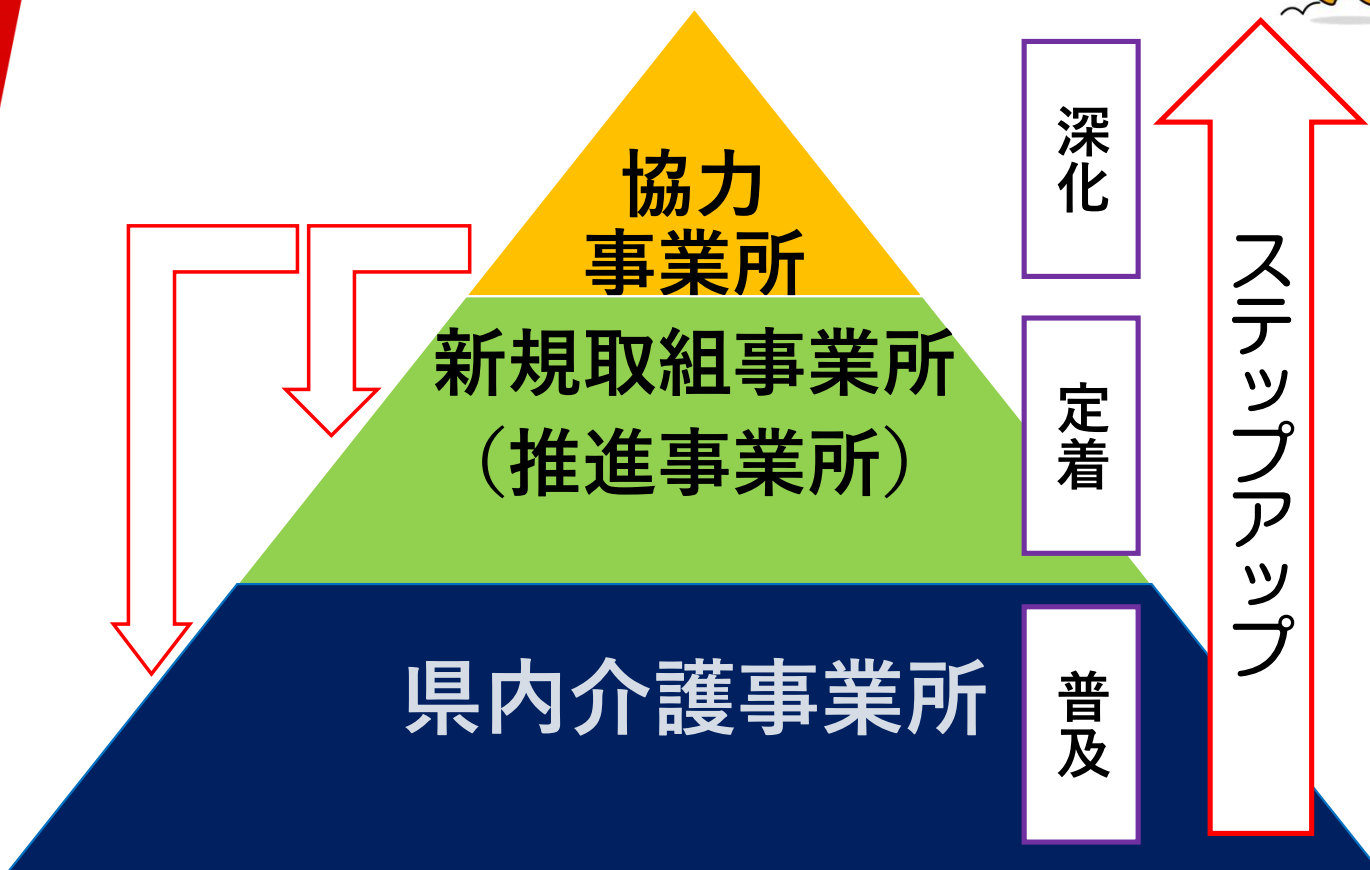
- 姿勢管理の重要性**が伝わる

⇒利用者を見る**視点が変わってきている**

やりがいに  
つながっている

**双方の安心・安全、ケアの質の向上**  
本来の目的(真の目的)が伝わる  
「**トータルセーフティケア**」の**重要性の理解**

# 協力事業所は指導的存在へ



令和7年度愛媛県ノーリフティングケア普及啓発事業マネジメント研修  
愛媛県保健福祉部生きがい推進局長寿介護課より

# 普及していくために必要なこと

## ●職場の意識統一（一番難しいところ 時間がかかってあたりまえ）

- ①単年度、中・長期の計画を事業所全体で立てる
- ②関わる全ての職員と何度も話し合うこと（機会をつくる）
- ③生活支援の知識・技術の伝達

◦目先の時間を考えて介助することで、ゆくゆくどうなるのか

⇒ 二次障がい→重度化＝双方の負担 + 時間・費用がかかる

予防するためには、24時間トータルセーフティケアが重要

- ・状況を把握する アセスメントができるようになること
- ・姿勢を見ること、整えること
- ・利用者のできることをしてもらう時間を確保すること  
（難しいけれど…ゆとりを持つこと）
- ・テクノロジー等の活用（介護ロボット、福祉用具・機器）

# 普及していくために必要なこと

## ●職場環境の整備

①体制を整える 委員会メンバーが就業時間に活動できること

②物質的な環境

・道具(福祉用具・機器)をそろえる

・空間を整える

練習場所を設ける

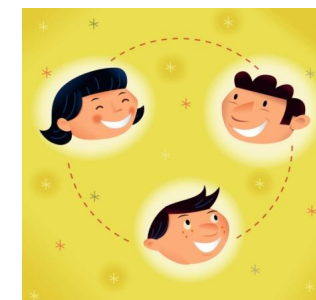
居室内を整理整頓して、

すぐに福祉用具が使えるように配慮する

## ●練習を重ねる

①誰でもいつでも練習できる環境を準備する

②技術を評価する仕組みを作る



## 普及していくために必要なこと

- **事業所全体で取り組むための労働衛生管理体制の整備**
- **多職種での連携**  
専門職からの伝達・指導を受けて、介護職が行える体制づくり
- **アップデートをしていきましょう！**  
現状を維持したいという気持ちも受けとめる。取り組んでいくなかで**利用者や他の職員の変化**によって現状が改善されていく成果が見えるようになると心に変化が現れる可能性がある
- **教育体制**  
アセスメント技術の向上→介護過程の理解＝ケアの質の向上

## これからの介護

### ●テクノロジー

介護テクノロジーや福祉用具・機器を駆使する  
負担軽減につながる便利なものは、便利に使っていく

### ●テクニク

介護の知識や技術を磨く。人が絶対行うべきところ 介助場面の技術だけではなく、  
アセスメントや利用者を観察する目も磨く

### ●非密着・非密接ケア

腰痛、二次障がい予防だけでなく、感染症対策としても必要

重度化してから  
考えるのではなく  
自立支援や重度化予防の  
ためのもの  
双方の負担軽減

ノーリフティングケアを含む

トータルセーフティケアを全ての事業所で

アナログとテクノロジー  
うまく活用・統合させて  
ノーリフティングケアを含む  
トータルセーフティケアが  
愛媛県全体で  
普及することを目指して  
これからも活動していきましょう



ご清聴ありがとうございました



推進事業所・協力事業所  
の皆さんと意見交換

